

令和7年9月1日

乳牛市況情報

(毎月1日現在)

全農酪農部
ホクレン酪農部

《前月の動き》

8月については、秋分娩中心の取引となったなか、回転需要に加え、暑熱事故の代替需要により、初妊牛平均価格は596千円（前月差17千円高・前年差163千円高）とやや強含みで推移した。

《参考》 8月乳牛専門市場初妊牛取引価格帯

単位：円・頭・%

価格帯	～550,000	～600,000	～650,000	～700,000	～750,000	750,001～	合計
出場頭数	833	318	363	284	182	165	2,145
成立頭数	695	306	359	284	182	165	1,991
取引率	83.4	96.2	98.9	100.0	100.0	100.0	92.8

※令和7年4月開催市場分より価格帯表示を変更しております。

《今後の動き》

9月については、猛暑もやや落ち着き暑熱時期を見合わせていた導入需要も見込まれることから、初妊牛相場は、現状水準から強含みでの価格展開が予測される。

《予想相場》

単位：千円

種別	ランク	極上	上	中
	育成(8～12ヶ月令)		>300	300～250
初妊		>660	660～610	610～550
経産	2～4産	>400	400～350	350～300
	5産以上	300中心		

※予想相場はET移植以外の登録牛を対象としています。